育てたい子ども像

学校教育目標

- ・夢に向かって自ら学ぶ人
- ・人とのつながり(絆)を大切にする人
- 誇りをもってふるさとを語れる人

町教育大綱「基本理念」

- 人がつながる
- 未来につながる
- まちぐるみの教育

めざす教師像

期待する生徒像

① 生徒・保護者・地域から信頼・支援さ れる学びの場としての地域の学校

めざす学校像

- ② 生徒や地域の特性を活かし、生徒の 夢を具現化する学校
- ① 夢に向かって学び続ける生徒
- ② 人とつながり協働できる生徒 ③ ふるさとに誇りを持ち、伝え合える生徒
- ① 生徒の心に寄り添い、生徒・保護者・地域 に信頼される教師(一人一人を大切にする)
- 生徒の学力向上等、生きる力の育成を図 るため、研鑚を重ねる教師

学校経営方針(中 期 経 営 目 標)

「ウェルビーイングの実現を目指して、知・徳・体の調和がとれ自・和を大切にできる体系的な教育をすすめ、家庭・地域と協働する学校づくり」

確かな学力の育成(知)

小

中

維

孝

館

B

原

小

治

H

原

小

学校と

()

連

堆

協

働

・学習指導要領の趣旨を踏まえ、小中一貫教育を通して、 確かな学力をはぐくむ。

豊かな心と健やかな身体の育成(徳・体)

・生徒指導の実践上の4つの視点及び生徒理解に 基づく教育をすすめ、豊かな心と健やかな身体をは

・道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

社会的に自立した人間」の育成(自・和)

・自己を見つめ将来を展望する力をはぐくむ。 ・人とのつながりや様々な体験等を通して、人権尊重 の心をはぐくみ、社会的に自立した人間としての基盤 を培う。共生する力やおもてなしの心もはぐくむ。

<u>地域と協働する学校づくり</u>

保護者や地域から信頼され、 愛されるチーム「維孝館」の構築 を図り、地域と協働する学校づく りをすすめる。

学校経営の重点(短期経営目標)

○学校・社会生活の基盤育成のため、教育活動すべてで行動指針「時を守り、場を清め、礼を正す」の徹底と評価を行う。

〇人権学習をはじめ、全教育活動において生徒の**人権意識の高揚**を図る。

- ○公会的・職業的に自立した人間としての基盤に必要となるコミュニケーションカ、自律の力をはじめとする様々な力(非認知能力)を培い、生徒自らが希望進路 実現を図る姿勢を育成するとともに、生徒が**自己効力感等を実感できるよう評価**をすすめる
- ○「学びをつなぐ授業づくり」の研究・実践にタブレットPC等ICTの利活用を加え、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業等の構築を図る。
- 〇学習指導要領の評価・評定を確実に行うとともに、指導と評価の一体化を図り、集団への指導等ガイダンスと個別に対応したカウンセリングにより、生徒の発達 を支援する。さらに、京都府学力・学習状況調査~学びのパスポート~を有効に活用し、学力向上に努める。
- ○学習指導要領の趣旨を踏まえて、教育課程をカリキュラム・マネジメント及び働き方改革の視点から、整理・改善を図る。
- ○ボランティア活動等地域の一員としての意識を醸成する取組をすすめるとともに、地域人材等の活用・参画や学校行事等への参加を促し、家庭・地域と協働で きる学校づくりを図る。

豊確社

かか会

心学に

的

自

立

た

人

間

と

て

基

盤|

なな

とカ

健

ゃ

か

な

身

体

の

育

成

義務教育9年間を見据えた

基礎・基本の定着と活用力 主体的に学ぶ力を高める取組等

- ・学習指導要領に対応した学習活動と学習評価の実施
- 朝の読書活動の充実
- ・「いっしょに学びあう授業」の確立(維孝館学園スタディモデル)
- ・学習習慣の定着(ICT等を活用した自主学習)
- ・家庭学習の充実

(シラバス・自主学習ノート・ICT等を活用した自主学習)

- ・「学びをつなぐ授業づくり」の研究・実践
- ┣ タブレットPCの利活用の推進
- ・書く力・論理的思考力を育成するための言語活動の充実
- ・英検を活用したグローバル化への対応
- ・小中9年間の指導計画を活用した指導の充実
- 京都府学力・学習状況調査~学びのパスポート~の活用

生徒指導の実践上の4つの視点と

- ・基本的な生活習慣・生活リズムの確立
- ・いじめの未然防止・不登校減少に係る取組の徹底
- (生徒アンケート・教育相談、いじめ防止対策委員会の活動等) ・スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー、心の居
- 場所 サポーターの活用

- ・非行防止・情報モラル・薬物乱用防止教室の実施 ・自転車の安全運転等

行動指針

(徹底と評価)

時を守り

(時間を守り、生活に余裕を持つ)

各種の学習等をつなぎ 社会的自立の基礎を

- ・小中9年間のふるさと学習等 のまとめとしての「まちづくり 学習」の積極的な活用
- 進路指導を含むキャリア教育 の系統化と内容の充実
- ・キャリアパスポートの活用 ・生徒会活動による課題解決 的な取組
- ・生徒会や部活動等生徒の自主的な活動の推進
- ・自他を認め合い、学びあいが できる学級・学年集団づくり
- ・コミュニケーションカ等ソ-シャル・スキルの育成
- ・小学校教員の派遣による通級

生徒の成長を促す 研究•研修、学校体制

- ·QUを活用した学級経営
- ・生活・学力等の実態分析 とその改善方策
- チーム「維孝館」構築 SC·SSW·心の居場所 サポーター等との協働
- 学校評価の活用 学習指導要領の確実な 実施等の研究・実践 (カリキュラム・マネ
- ント・働き方改革の視点

人権尊重を基盤とした

- ・道徳的な感性を磨き、心を育てる道徳授業の研修
- ・特別な教科「道徳」の授業の充実
- ・輪番道徳等、全教員による道徳授業
- ·「法やルールの教育」等の推進による規範意識の醸成
- ・系統的な人権学習の実施
- ・人権作文・人権標語の取組等を通した人権意識の向上 ・ボランティア活動、クリーンキャンペーン等を通した社会
- 参画意識や奉仕精神の涵養 ・障害の科学的な理解に基づく と尊重による国際協調の精神の育成

場を清め (きれいな学習・生活環境を創る)

礼を正す

(あいさつ・感謝を表す)

地域人材等の <u>活用•参画</u>

社会人講師 支援サポーター

情報発信

学校公開・学校だより・HP・メール 職場体験、各種施設等での実習 クリーンキャンペーン・ボランティア<u>活</u>動等

地域の一員とし ての意識の醸成

保護者・地域の人々・学校支援ボランティア 他